



学校だより～三カー心～

平岩小中学校
校長室通信No.3
H29.5.12

ゴールデンウィークが終わりました。皆さん、充実したお休みを過ごされたことと思います。まずは、大きな事故等がなかったこと、そして、8日（月）に、お休みの子どもも数人いましたが、多くの子どもたちが元気に登校してくれたことは何よりもうれしく思いました。保護者の皆様の御協力に感謝いたします。

■ 避難訓練

4月27日（木）に避難訓練を行いました。津波が起きたことを想定して、校庭に一次避難した後、二次避難として学校から神社まで走って避難しました。

避難訓練自体は、大変すばらしかったです。みんな真剣に取り組んでいましたし、9先生は、しっかり1年生の手を引いてサポートしながら避難していました。

ところで、東日本大震災の際に、市内小・中学校の児童生徒のほぼ全員が避難し無事だった岩手県釜石市では、「津波てんでんこ」の指導が徹底されていたと聞きます。「津波てんでんこ」とは、「津波警報が出たときには、家族を迎えに行くようなことはせずに、今いるそれぞれの場所から、避難所に駆け上る。」という教えだそうです。

御家庭においても、例えばお子さんが一人で家にいる時、どこにどのように避難するか、いろいろな場合を想定して確認をしておくといいと思います。

■ 心のスイッチ

毎日、子どもたちは登校してきます。それだけでも、大変なことですよ。特に、これから先は日射しも強くなります。めげそうになる日もあるかもしれません。もしかすると、「もう、今日は休もうかな。」と思うこともあるかもしれません。登校に限らず、「どうしようかなあ」と葛藤する場面は、いろいろあるでしょう。

そんな時、私たち大人は、自分で「だめだめ、ここでがんばらなきゃ。」と、心のスイッチを入れます。しかし、子どもたちは、まだ、この心のスイッチを自分で上手に入れられません。

ですから、大人が、「ここで諦めたらもったいないよ。」「目標を思い出してごらん。」「あなたならやれる、大丈夫。」などの言葉かけをして、子どもたちのやる気を引き出してあげる必要があります。

どんな言葉かけでスイッチが入るかは、お子さんによっても、また、発達の段階によっても違いますので、私たち教師も悩みます。皆様も、どんな言葉かけがお子さんに合うのか、改めて考えてみてはどうでしょうか。

子どもたちは、そんな経験を繰り返すうちに、次第に自分で心のスイッチを入れられるようになるのだと思います。